

## 献呈の辞

神奈川大学法学会会長

小原 喜雄

藤田 勇教授は、東京大学社会科学研究所を定年で退官後、昭和六一年四月に本学に赴任され、学部で法社会学および社会主義法の講義を担当されとともに、法学研究科委員長、評議員、常務理事等の要職を歴任され、本学の定年後三年間特任教授を勤められ平成一一年三月に退職された。神奈川大学法学会は、これを記念して、「神奈川法学」第三三卷第二号を藤田教授の退職記念論集として献呈することにした。

藤田教授は、本学在勤中においても一貫して社会主義法の研究に情熱を傾注され、多数の著書および論文を発表された。その研究対象であるソ連邦にペレストロイカという変質が生じ、遂には社会主義体制が崩壊する事態に直面されても藤田教授は茫然自失することなく、研究を継続された真摯な学究姿勢は同僚に深い感銘を与えた。

学会活動においては、藤田教授は日本法社会学会理事、日本ユーラシア協会会長、日本国際法律家協会会長として大いに活躍された。

おわりに、藤田教授が、今後とも益々ご活躍されますことを祈念申し上げる次第である。